

埼玉県立

小児医療センターだより

●埼玉県立小児医療センター

〒330-8777 埼玉県さいたま市中央区新都心1番地2

Tel▷048-601-2200(代表) Fax▷048-601-2201 E-mail▷n581811@pref.saitama.lg.jp

URL▷https://www.pref.saitama.lg.jp/scm-c/index.html



小児医療の「最後の砦」として

—埼玉県における小児医療センターの使命—

事務局長 阿部 隆 たかし



現在の埼玉県地域保健医療計画は、人口構造の変化を見据え、将来にわたって県民が必要とする医療を提供していくためには「医療機能の分化と連携」を推進する必要があるとし、高度で先進的な医療は、機能を集約化して効率的で質の高い医療提供体制の構築を目指すべきとしています。

昨年、埼玉県医師会会長をはじめとする各界の有識者で構成する「埼玉県立病院の在り方検討委員会」が設置され、各病院の将来像や経営形態などについて議論を行い、11月に報告書が提出されました。当センターの在り方としては、今後も全県を対象とした小児の第三次医療機関として高度専門医療を提供していくべきことが確認され、そのために急性期を脱した患者の受入れや、在宅医療へ向けた取組、成人への移行期医療など、地域の医療機関との連携の必要性が指摘されました。

さいたま新都心地区への病院移転を機に開設した「総合周産期母子医療センター」及び「小児救命救急センター」は、関係者の御理解と御協力に支えられ順調なスタートを切り実績を挙げてきました。今年1月には、小児専門病院単体としては全国唯一の「災害拠点病院」に指定され、被災地に災害派遣医療チーム(DMAT)の派遣もできるようになりました。

医療における進歩は目覚ましく、多くの命を救うことが可能になってきています。当センターでもさらに高度化する医療需要に対応すべく先進的医療への積極的な取組を進めてまいります。現在、生体肝移植手術をはじめ、がんゲノム医療やCAR-T細胞療法など最新のがん治療の実施に向けた準備を進めているところです。

また、医療機関には提供する医療の質の向上も求められています。それを担う病院内の体制ですが、日本医療機能評価機構が実施する病院機能評価の受審を機に、各般に亘る病院業務の点検を実施しました。現在必要とされる水準の医療安全や感染管理、情報管理やプライバシー保護など、様々な観点から職員一丸となって医療の質向上のための見直しを行いました。4月以降は、TQM推進のための院内組織を設置し総合的なクオリティ管理を進めていく予定です。

不本意ながら昨年12月以降、新生児病棟におけるMRSA感染防止対策のため、新生児の新規入院を一時的に停止せざるを得ない事態となりました。感染拡大防止のために必要な措置であったとはいえ、地域の医療機関や県民の皆様方に多大な御迷惑をお掛けする結果となりました。万全の管理体制を整え、一刻も早く新生児病棟を全面的に再開できるよう職員一同全力で取り組んで参りますので、何卒、御理解を賜りますようお願い致します。

まもなく平成に代わる新たな時代がスタートします。社会環境はめまぐるしく変化していきますが、当センターは、今後も本県小児医療の「最後の砦」であるという使命感を持って高度専門医療を提供し、地域医療に貢献して参ります。

最後になりましたが、旧病院跡地の岩槻診療所が、昨年4月から社会福祉法人桜楓会が運営する医療型障害児入所施設「カリヨンの杜」にスムーズに移行することができました。御協力いただいた皆様方にこの場をお借りして深く感謝申し上げます。

埼玉県立小児医療センターだより 第13号 ご案内

- 事務局長 阿部 隆 挨拶p.1
- 10B病棟の紹介.....p.5
- 遺伝科の紹介p.2
- お知らせ
- CLS (チャイルド・ライフ・スペシャリスト)の紹介...p.3
- 災害拠点病院の指定p.6
- 麻酔科の紹介p.4
- 受診の案内・病院へのアクセスp.6



<診療部門紹介>

遺 伝 科



おお はし ひろ ふみ
遺伝科 大橋 博文

遺伝科では様々な先天異常症候群に関する診療を担当しています。診療の主な柱は、①診察による臨床的診断、②遺伝学的検査による精密診断、③疾患の自然歴情報に基づいた健康管理、④集団外来も活用した患児・家族支援、⑤遺伝カウンセリングです。今回は、その中で特色のある集団外来（ダウン症候群と先天異常症候群）をご紹介します。

1. ダウン症候群総合支援外来（表1）

平成元年から継続している集団外来ですが新病院移転を期に新しいスタイルになりました。生後6ヶ月未満（参加開始時点）のダウン症候群のある赤ちゃんを対象とし、月1回（第2木曜日）、計6回（半年間）のプログラム外来です。

DK外来プログラム (表1)

開催月	内 容	担 当
4、10	健康管理について	遺伝科
5、11	運動発達について (赤ちゃん体操)	理学療法
6、12	医療福祉情報	MSW
7、1	食べる機能の発達	栄養/理学療法/認定看護
8、2	遊びとコミュニケーション	作業療法
9、3	子育てフリートーキング	臨床心理

2. 先天異常症候群集団外来（表2）

様々な先天異常症候群について、毎年疾患を決めて集団外来を開催しています。個別診察と集団外来をセットにした外来で、集団外来は第一部：情報提供、第二部：家族交流、の二部構成です。

2018年度 先天異常症候群集団外来 (表2)

疾 患	テ ー マ	参加家族	うち県外
ルビンシュタイン・テイビ症候群	疾患概要と健康管理	10	3
ピット・ホプキンス症候群	疾患概要と健康管理	6	4
カブキ症候群	社会福祉制度について (MSW)	20	14
アンジェルマン症候群	疾患概要と健康管理	10	1
22q11.2欠失症候群	22 Hurt Clubの活動について (家族会)	12	0
9p重複/9トリソミーモザイク	疾患概要と健康管理	12	4
プラダー・ウィリー症候群	味覚体験～変化するうま味を感じてみよう～ (栄養部)	13	6
ラッセル・シルバー症候群	疾患概要と健康管理	10	5
コフィン・ローリー症候群	疾患概要と健康管理	2	1
ウィリアムズ症候群	ウィリアムズ症候群の心血管疾患について (循環器)	19	7
スミス・マゲニス症候群	疾患概要と健康管理	8	4
ソトス症候群	作業療法の視点からみたソトス症候群の発達 (幼少期を中心に) (作業療法)	13	6
ヌーナン症候群	低身長と成長ホルモン治療について (代謝内分泌科)	17	3
合 計		152	58

先天異常症候群の診断を受けたご家族がもつ不安と孤独は深刻です。その中で、この集団外来（疾患の理解と家族交流）が少しでもお子さんとご家族への支援になることを願って外来を進めています（なお、集団外来では多くの病院ボランティアの皆様にご援助いただいております。心よりお礼申し上げます）。

遺伝科の診療については当センター遺伝科のホームページに掲載しておりますので、お時間があるときにご覧いただければ幸いです。今後ともなにとぞよろしくお願い申し上げます。

<コ・メディカル部門紹介>



CLS

チャイルド・ライフ・スペシャリスト

CLS あまの かなえ
天野 香菜絵

チャイルド・ライフ・スペシャリスト（以下CLS）は、医療スタッフの一員として子どもやその家族へ心理社会的ケアを行う専門職種です。医療行為は一切行いませんが、医師・看護師をはじめとする他職種と協働しながら、子ども・家族中心の医療を目指し、当センターでは2012年より活動しています。現在、常勤1名、非常勤1名体制で入院中や外来に来られた患者さんやそのご家族へ必要なサポートを提供できるよう努めています。



● ノーマリゼーション（日常的な遊びの提供）



子どもにとって、『思い切り遊ぶ』ということは成長発達において欠かせないものですが、入院生活の中では難しい時もあります。そのような場合は、子どもたちの成長発達や病状に合わせた遊びを提案し、ベッドサイドなどで遊びの提供を行います。

● プリパレーション

（処置や検査、入院前の心の準備のお手伝い）



「これから何をされるのかな？」という不安を抱えている子どもたちへ、発達に合わせた言葉を選び、わかりやすく説明することで不安を取り除くサポートをします。

● ディストラクション（処置や検査のサポート）



「横になってじっとしておくことが苦手」「処置が怖くて動いてしまう」といった子どもたちへ処置や検査の間、一緒に遊び、気をそらすことで検査や処置がスムーズにできるようサポートを行います。

● きょうだい支援

『病気のきょうだいは帰ってこないし、何が起きているのか聞けない…これからどうなるの？』そんな不安を抱えているきょうだいへCLSから直接説明をしたり、きょうだいを支援するために家族からの相談に対応します。

● グリーフケア

残念ながら頑張って治療を受けてきた大切なお子さんとお別れしなければならない時に、ご家族のご希望をうかがい、時にはきょうだいも交えて、ご家族にとって大切なお別れの時を過ごせるようお手伝いさせていただきます。





麻酔科 くら たに のり ふみ 蔵谷 紀文

麻酔科では子ども達が、安全に、かつ、イヤな思いをすることなく手術・検査を受けるために麻酔・鎮静を行っています。

小児では短時間の小手術であっても全身麻酔が必要になります。麻酔科は、子ども達に何より安全に手術を受けていただくことを第一の目標としています。麻酔を受ける前には麻酔科専門医による診察と説明を行い、安全に麻酔を受けていただくための評価と準備を行っています。小児では成人よりも麻酔・手術に対する不安が強いことが多いので、可能な限り子ども達の不安を軽減することも私達の大切な仕事です。麻酔中は麻酔薬の投与だけではなく、呼吸や脈拍、血圧などのバイタルサインを絶え間なく監視して、必要に応じて処置を行います。術後の痛みに関しても可能な限り抑えられるように配慮しています。当センターでは、産まれたばかりの赤ちゃんや様々な合併症をお持ちの子ども達が手術を受けることも稀ではありませんので、十分な経験を積んだ麻酔科医と最新の設備を備えた手術室で診療を行っています。

成人であれば麻酔を必要としない検査（MRI検査、カテーテル検査、消化管内視鏡検査など）でも、小児では麻酔や鎮静が必要になる場合があります。麻酔科では主治医からの依頼に応じて、侵襲的な検査に対する麻酔や鎮静を行っています。

小児の救急患者では病状の進行が早いことがあり、いつ手術が必要になるか予測がつかない場合があります。当センターの手術部門は24時間365日いつでも必要な手術が行える体制を整えております。

次世代を担う麻酔科医に対して、安全な小児麻酔を教育するのも私達の重要な仕事の一つです。当科では複数の大学病院麻酔科と連携を行い、多くの麻酔科レジデントを受け入れて小児麻酔の教育を行っています。厚生労働大臣の許可を得て、毎年、海外からの修練医も受け入れています。

平成28年末の新病院への移転により手術室は7室へと増加いたしました。麻酔件数も年々増加の一途をたどっております。平成31年度には新たに生体肝移植手術などの高度手術の開始も見込まれています。今後とも未来を担う子ども達のために、安全な麻酔診療を心がけてまいりますので、ご支援、ご協力の程よろしくお願ひ申し上げます。

麻酔科管理件数の年次推移

	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度
麻酔件数	2,230	2,310	2,600	2,647	3,328

<看護部紹介>

10B 病棟

にしむらふみえ
師長 西村 文絵

10B病棟は、循環器科と心臓血管外科、血液・腫瘍科の混合病棟です。循環器科を主科としているため、心臓カテーテル検査は年間250～300件行われ、検査直後、全身状態の不安定な患者さんの治療・看護を実践しています。更に、心臓手術は侵襲が大きいので術後小児集中治療室に入室します。そのような患者さんたちの術前管理や術後、病棟に戻り他部署と連携を取りながら退院まで看護を行います。血液疾患を持つ患者さんは治療や検査の入院が多く、化学療法や検査前後の看護を行い、自宅に帰れるよう退院支援を行います。

また、10B病棟は新生児から青年期まで幅広い成長発達段階の患者さんが入院しています。心臓の病気を持つ子どもたちは生まれた時から自分の心臓と上手に付き合い、血液の病気の子供たちは突然の病気にも負けずに頑張って治療し成長していきます。私達は患者さんご家族に寄り添い、治療だけでなく子どもの成長・発達を支援し、安全で安心できる看護を提供しています。



今年はイノシシ年!! かわいい親子イノシシでお出迎え



やさしい病棟スタッフがお迎えます



プレイルームで看護師と楽しく遊びます



毎日患者さんのことで熱い話し合い!

お知らせ

災害拠点病院に指定されました。

平成31年1月1日指定 **小児専門病院単体では全国唯一**

小児専門病院としての特色を生かしながら、さいたま赤十字病院と連携し、災害時の医療拠点の役割を果たします。

- 災害時においても病院機能が継続できる施設・設備を有し、**重篤な救急患者、特に災害時要配慮者である小児の受入れ**
 - ・小児救命救急センターの指定
 - ・救急外来、小児集中治療室 (PICU) ・高度治療室 (HCU) を設置
 - ・建物は免震構造、停電時でも自家発電機により電力供給
 - ・衛星電話で災害時における通信手段を確保
- 被災した地域への医療支援
災害派遣医療チーム (DMAT) を派遣



DMAT 隊員



DMAT 車両

ゴールデンウィークの外来診療について 5月2日(木) 5月6日(月)は通常の外来診療をおこないます。

医療機関の皆様へ 受診のご案内



①患者ご家族からのご予約



②医療機関の先生からのご予約・お問い合わせ



病院へのアクセス



■公共交通機関をご利用の方

- ・JR京浜東北線、宇都宮線、高崎線「さいたま新都心駅」から徒歩約5分
 - ・JR埼京線「北与野駅」から徒歩約6分
- ※歩行者用デッキを点線に沿ってお進みください。

■お車をご利用の方

- ・駐車場は有料になります。
 - ・機械式駐車場には車両のサイズの制限があります。
- ※ご利用の時間帯によっては、車両が集中し、入庫まで大変お時間がかかることが予想されます。
- できるだけ、公共交通機関のご利用をお願いいたします。